

# 卒会式 忘年会

12月第二例会

2008年12月12日(金)  
場所：萩本陣



12月12日(金)に萩本陣にて本年度最後の事業とも言える卒会式・忘年会が開催されました。本年度の卒会式は『厳粛・シンプル』といったムードの中、卒会生の大谷幹二君・岸田繁樹君・小林正治君を多くの先輩方そして現役メンバー100%で盛大に行われました。

現役メンバーを代表し送辞を読む3名は言葉に詰まりながらも、JC活動の思い出や、卒会生から学んだことなどを振り返りながら、感謝の意を込め読まれ、また、それに答え、答辞を読む卒会生は皆さん淋しそうでありながらも輝いて見えました。二次会では、会員交流委員会が毎晩のように遅くまで練習された余興で、卒会生と奥様、メンバーも大変盛り上がり、三次会、四次会と続きましたが、ほぼメンバーが減ることなく最後まで卒会生を盛り上げ、また今年一年山縣理事長の下、全力投球で頑張ってきたメンバー全員の思い出深い忘年会となりました。

2008年度 総務情報委員会 末武 ちどり



## 卒会者挨拶



大谷 幹二

入会時に赤ちゃんだった長女も今では中学3年生となり、改めて15年間の長さをかみしめていると同時に、あつという間の15年間

でもありました。私がJC活動していく中で一番の思い出は、日本JCに3回、地区協議会に1回、ブロック協議会に5回と、数多くの出向に行かせていただき、また世界大会をはじめとするさまざまな大会や会議にも参加させていただいた事です。色々な活動に参加し、色々な考えを持った多数の人に接し、又話し合った事が私の貴重な財産となり、この経験が今後の役に立つ事と信じています。JCは理屈抜きで何でもいから参加し、体験し、それを自分なりに消化することが必要で、そのことがJCの最高のメリットだと思います。

最後に、この15年間私をここまで育てて下さいました数多くの先輩の皆様、又温かい友情でご協力下さいました会員の皆様方に心よりお礼を申し上げ、今後益々の萩青年会議所が発展する事を心よりお祈り申し上げます。



岸田 繁樹

JCという言葉すら知らなかった私が何も知らないまま入会し11年4ヶ月という期間在籍

をさせていただき無事に卒会をさせていただく事ができました。

自分の今までの人生の中で経験できなかった多くの事を経験する事が出来ました。そして、本当に多くの人との出会いがありました。萩JCの現役・先輩の多くの皆さん、出向した日本、中国地区、山口ブロックでの多くの皆さん、その多くの出会いが私の財産であると思います。辛い事や苦しい事もあったのかもしれませんがそれもいい思い出になっています。30代をJCとともに歩んだ事で本当に充実した日々であったと今、実感をしています。

叱咤・激励していただいた先輩の皆さん、ともに活動をした現役の皆さん、そして家族の支えに本当に感謝の気持ちで一杯です。本当に長い間お世話になりました。ありがとうございました。



小林 正治

月日が経つのも早いもので、あつという間に自分自身が卒会?と何か自分の中では充実感が湧いてきませんでした。しかし、先日の卒会式・忘年会にて多数のOBの先輩方・現役会員の皆様方の前の壇

上の席から周囲を見回すと不思議と頭の中に色々な想いが込み上げて来ました。この40という歳で、これ程(色々な意味で)感動をした事はほとんどここ最近では記憶に残っておりません。JCの中でしか味わえない事があるからこそいい思い出が出来たんだと思います。

卒会式では現役会員は勿論の事、OBの皆様からの温かいお言葉を頂き本当に心より感謝し御礼申し上げます。JCに入会して3年半と短いJCライフではありますが、岸田君・大谷君の足元には及びませんが一緒に卒会出来た事、大変嬉しく思います。また、このJCで学んだ事・数多くの友人が出来た事をこれからの人生に活かして精進して行きます。現役会員の皆様も人生、色々ありますが何事からも逃げずに自分が思った事をどんどんと前に前に進んで行って下さい。自分もあまり良い事は言えませんがこれからも何事にも一生懸命頑張って行きますので卒会しても、現役の時と同じくお付き合いの程、宜しくお願い致します。

簡単で申し訳御座いませぬが3年半と短い間でしたが有難う御座いました。